

[江別市] 施策達成度報告書

政策 03 安心を感じる保健・医療・福祉の充実

施策 02 健康づくりの推進

主管課：保健センター

施策の目的

医療体制を充実するとともに、心身の健康づくりを進めることによって市民一人ひとりが健やかに暮らし、心豊かな長寿を全うできることを目指します。

対象(誰を対象とした指標か)

意図(対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

市民	市民1人ひとりが健やかに暮らし、心豊かな長寿を全うできるよう、疾病や障がい減らす(地域医療含む)。
----	---

施策の目的をあらわす指標の動き(成果指標)

施策の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	後期目標値
健康だと思ふ市民割合	%	82.5	76.5	-	77.4	81.2	79.6	↗
生活習慣病死亡率(人口10万人あたり)	人	429.3	-	-	-	514.5	520.2	400.0

施策の達成状況(25年度)

後期目標の達成状況については、「健康だと思ふ市民割合」は、社会経済状況や健康に対する価値観の多様化などから、目標値を下回る結果となったが、概ね8割前後の方は「とても健康である」、「おおむね健康である」と市民アンケートでは回答している状況である。

悪性新生物、心疾患などを含む「生活習慣病死亡率」についても、平成23年度の統計数値が直近値となるが、520.2人と目標値に達しない結果となった。生活習慣病死亡率の全国の状況も、初期値である平成18年度の515.3人から、その後年々増加し直近値となる平成23年度には553.1人となっており、全国的に増加している傾向の中で、当市も同様の結果となっている。

今後は、「えべつ市民健康づくりプラン21」に基づき、食生活の改善や運動習慣の定着などにより、生活習慣病を予防するとともに、健康診査やがん検診の推進により、疾病の早期発見、早期治療に結びつけ、合併症や重症化の予防に努めていく。

施策事業コスト	21年度決算額	22年度決算額	23年度決算額	24年度決算額	25年度決算額
トータルコスト(千円)	4,043,234	4,101,351	4,270,582	4,305,556	4,406,426
事業費(千円)	3,635,719	3,708,829	3,868,478	3,914,373	4,056,401
人件費(千円)	407,515	392,522	402,104	391,183	350,025

## 基本事業

### 01 疾病の早期発見、早期治療及び予防の促進

#### 基本事業の目的

健康診査・がん検診を通して、疾病を早期に発見するとともに、生活習慣病予防のために、健診事後指導を強化することにより病気の予防、生活習慣の改善が図られます。

#### 対象(誰を対象とした指標か)

#### 意図(対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

成人	健康診査などにより疾病の早期発見・早期治療を図ると共に、生活習慣病予防の実践と予防知識を習得してもらう。
----	--

#### 基本事業の目的をあらわす指標の動き(成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	後期目標値
健康診査・がん検診の受診率	%	57.6	62.4	-	61.6	62.5	61.8	↗
健診等で異常を発見された人のうち、指導又は治療を受けた人の割合	%	93.5	84.9	-	81.9	77.5	83.2	↗
かかりつけの医師をもっている市民の割合	%	52.6	57.5	-	58.0	56.6	60.0	↗

#### 基本事業の達成状況(25年度)

後期目標の達成状況については、「健康診査・がん検診の受診率」は、初期値と比較すると向上しており達成することができた。「健診等で異常を発見された人のうち、指導又は治療を受けた人の割合」は、特定健康診査について、その結果によっては生活習慣の改善が必要となることへの理解が十分ではなかったこともあり、初期値以降いずれも低下傾向にあり、目標値に達することができなかった。「かかりつけの医師をもっている市民の割合」は、初期値と比較して向上しており達成することができた。健康診査は、H25.12に行われた市民アンケートでは、68.7%の方が受診しており、市が実施する健診だけではなく、職場での健診や自主的に健診を受けている状況がうかがわれる。反面、がん検診については、国の施策として5年間にわたり実施された無料クーポン券事業やピンクリボン運動などの積極的な啓発活動により、一時的な受診率の向上は見られたものの、継続することは難しい状況であり、今後は、受診しやすい環境の整備や対象別の勧奨方法などをさらに検討し、がん検診受診を勧めるとともに、必要な精密検査や治療を確実に受けるよう個別指導を徹底していきたい。

施策事業コスト	21年度決算額	22年度決算額	23年度決算額	24年度決算額	25年度決算額
トータルコスト(千円)	154,310	199,839	320,615	226,804	204,151
事業費(千円)	125,682	168,002	293,327	199,950	177,976
人件費(千円)	28,628	31,837	27,288	26,854	26,175

基本事業の目的

「自分の健康は自分で守る」ことを基本として、家庭、学校、職場、地域、医療機関と連携した健康づくり活動を推進します。また、生活習慣病予防などの健康教育・健康相談を充実します。

対象(誰を対象とした指標か)

意図(対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

市民	家庭、学校、職場、地域が主体となった健康づくり活動が推進され、健康増進や疾病予防に関する知識が身につき、個々人にあった健康づくりを実践する。
----	--

基本事業の目的をあらわす指標の動き(成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	後期目標値
健康を維持するために実践している項目数	項目	4.59	4.60	-	4.41	4.57	4.58	↗

基本事業の達成状況(25年度)

後期目標の達成状況については、「健康を維持するために実践している項目数」は、初期値をわずかながら下回り、目標値に達しなかった。  
 しかし、市民の8割以上の方が、適正な睡眠をとる、朝食を欠かさず食べるなど健康維持のために何らかの行動をとっている状況である。また、テレビなどのマスコミでも、健康や病気に関するものが多く取り上げられている背景には、健康に関心を持つ方の増加がうかがわれる。今後も健康に関心を持つ方が、積極的に健康づくり活動に参加できるよう、地域健康づくり講演会、健康教育、啓発活動を「江別市民健康づくりプラン21」に基づいて実施していく。

施策事業コスト	21年度決算額	22年度決算額	23年度決算額	24年度決算額	25年度決算額
トータルコスト(千円)	45,442	43,627	41,173	48,842	46,911
事業費(千円)	8,516	8,566	7,865	10,766	9,800
人件費(千円)	36,926	35,061	33,308	38,076	37,111

基本事業の目的

妊産婦、乳幼児の健康管理のため各種健康診査を通して、母性保護と子の健やかな成長を図ります。また、両親学級や育児相談により、安心して子どもを産み育てることができる正しい知識が習得できます。

対象(誰を対象とした指標か)

意図(対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

妊産婦、乳幼児と保護者	親子が心身共に健康を保持・増進するための知識が得られ、具体的な方法がわかることで、実践できる。また、疾病の予防及び早期発見により健康障がいを防ぐことができる。
-------------	---

基本事業の目的をあらわす指標の動き(成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	後期目標値
乳幼児健診(4ヶ月、10ヶ月、1歳6ヶ月、3歳)平均受診率	%	96.5	96.6	96.8	97.2	96.2	98.1	97.0
乳幼児の健康診査に満足している人の割合	%	81.7	-	93.1	-	95.3	-	↗

基本事業の達成状況(25年度)

後期目標の達成状況については、「乳幼児健診平均受診率」は、高い水準で推移しており目標値を上回る結果となった。「乳幼児の健康診査に満足している人の割合」は、隔年での調査により平成24年度の調査値が直近値となるが、95.3%と初期値と比較すると向上が見られ達成することができた。個別の相談や指導にきめ細かく対応し、待ち時間等も極力少なくするよう様々な工夫をすることにより、満足度も高い状況が続いているものと思われる。両親学級には、85組の夫婦が参加し、親子相談には1,000人弱の方が来所するなど、育児相談や子どもの発育の確認などがしやすい環境となっている。また、養育支援事業では、育児不安など気になる親子に対して、関係機関や民生委員・児童委員などとも連携し、虐待等の未然防止に努めている。

施策事業コスト	21年度決算額	22年度決算額	23年度決算額	24年度決算額	25年度決算額
トータルコスト(千円)	186,173	186,225	181,971	214,748	174,712
事業費(千円)	145,098	147,134	143,045	174,267	135,256
人件費(千円)	41,075	39,091	38,926	40,481	39,456

基本事業の目的

休日や夜間に安心して適正な医療サービスが受けられるよう、関係機関と連携を図り救急医療体制の充実に努めるとともに、病診連携の強化などにより地域医療体制を充実し、多様化する医療ニーズに応えます。

対象(誰を対象とした指標か)

意図(対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

市民	適正な医療サービスが受けられ安心できる。
----	----------------------

基本事業の目的をあらわす指標の動き(成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	後期目標値
休日当番対応医療機関数(内科小児科)	件	28	29	29	32	32	31	30
救急対応医療機関数(外科系)	件	6	6	6	6	6	6	6
人口10万人あたりの医師数	10万対、人	109.5	120.9	122.9	122.9	-	-	125.0

基本事業の達成状況(25年度)

後期目標の達成状況については、内科小児科の「休日当番対応医療機関数」は、わずかながら目標値を上回り、「救急対応医療機関数」は目標値と同値となった。江別医師会をはじめ関係機関との協力・連携により、休日・夜間の当番医制の維持充実、救急医療として一次・二次救急体制の充実が図られ、どちらも目標値に達する結果になった。「人口10万人あたりの医師数」は、平成23年度の統計数値が直近値となるが、122.9人と初期値を上回っているものの、札幌圏の医師数が札幌市に偏在するなど圏域内での地域間格差がみられるように医師の確保には困難があり、目標値に達しない結果になった。

今後も安心して医療サービスが受けられるよう関係機関と連携を図り、救急医療体制の確保や病診の連携などにより、地域医療体制の安定を図っていくことが必要となる。

施策事業コスト	21年度決算額	22年度決算額	23年度決算額	24年度決算額	25年度決算額
トータルコスト(千円)	3,627,258	3,644,182	3,701,182	3,787,485	3,950,365
事業費(千円)	3,336,745	3,365,306	3,404,220	3,506,925	3,708,161
人件費(千円)	290,513	278,876	296,962	280,560	242,204